

# 令和3年度 事業計画について

## 令和3年度社会福祉法人天寿会事業運営方針（骨子）

昨年来続いている新型コロナウイルス感染症の拡大は利用者及び職員に大きな影響を及ぼしていますが、新年度においても感染防止に全力を尽くしながら、社会福祉法人としての使命・役割に沿った事業運営に取り組みます。また、昨年度の骨子同様、地域社会にとって天寿会があって良かったと利用者様にも、地域社会にも、職員にも思われる事業運営を目指し、法人理念の実現に向け取り組んでまいります。

令和3年度も中期計画に基づき、経営・サービス向上、地域とのつながり、人材の確保と育成の4項目を軸とし、加えて新型コロナウイルス感染症防止を行いながら事業運営に取り組みます。

### 1. 天寿会第1次中期計画について

天寿会を取り巻く様々な環境の変化を見据え、持続可能な事業運営体制の構築、それを支える財政基盤の強化、サービスの向上等を図るため、令和2年度から6年度までの5年間で基本構想期間として取り組みます。

### 2. 経営

- ① 健全な財政運営を行います。
- ② 透明性の高い法人運営を進めガバナンスの強化に努めます。
- ③ 働きやすい職場づくりや職員一人一人の解決能力向上など職場風土の醸成に努めます。

13事業14会計区分において財政の見直し、コスト削減、予算管理などによって安定的な経営で、利用者及び職員の安心安全を確保します。ホームページを充実させ事業所ごとのブログで積極的な情報発信を行います。また、同一労働同一賃金への対応、職場でのハラスメント防止に引き続き取り組みます。療護棟を主とした施設整備については新型コロナウイルス感染防止対策に時間を割かれ十分な討議ができないままとなってしまったため、グランドデザイン作成については3年度の取り組みとして継続しますが、ここ数年来の継続案件であり3年度には必ず目途を立てることといたします。

### 3. サービスの向上

- ① 利用環境の向上
- ② 利用者・利用待機者減少への対応

安心安全なケアの提供に向け介護事故防止・感染症予防・災害対策などを充実させます。

利用待機者の減少に対応すべく、選ばれる事業所となるよう特色のあるサービス提供や特色を積極的に発信します。

### 4. 地域とのつながり

- ① 地域との交流・協働
- ② 情報発信・提供
- ③ 地域移行の推進

新型コロナウイルス感染症予防に努めつつ、地域とのつながりが途切れたままにならないよう、この環境下における「共生」のスタイルを模索します。

町からの委託事業についても休止中ですが、法人と地域の交流・協働の場面を設定できるよう町とも協議を進めていきます。

## 5. 人材の確保と育成

- ① 人材確保
- ② 人材育成と離職予防
- ③ ハラスメントの防止

少子高齢化及び人口減少は、深刻な人材不足となっており、様々な採用方法を取り入れ、人材確保に努めます。採用後は専門性の向上・資格取得を応援するとともにチューター制度の強化、メンター制度の導入などで離職防止に努めます。また、事業所の管理運営に関わる管理者の育成と確保に取り組むとともに、パワハラ・セクハラ等ハラスメントを起こさない職場環境をつくります。

## 6. 新型コロナウイルス感染防止

- ① 予防に関する正しい知識と技術と情報の周知を図ります。
- ② 予防に必要な衛生物品の十分な備蓄に努めます。
- ③ 発生した場合を想定したゾーニングや消毒、ガウンテクニック等の演習を行います。
- ④ 発生した場合を想定した業務継続マニュアルの作成に取り組みます。
- ⑤ ワクチン接種に関し白老町など行政機関と連携します。
- ⑥ 面会制限の緩和や外出行事の再開が困難な場合は、代替事業などに取り組みます。

ウイルスを持ち込まないことを第一に感染防止の対応をしつつ、万が一発生した場合に感染拡大を防ぐことが確実にできるよう準備します。また利用者・家族・職員のストレスが緩和できるよう、情報発信や代替行事、ウェブ面会の拡充に努めます。

令和3年度 更生部事業計画（概要）

運営方針	<p>1. 利用者の安定確保のための広報活動・情報発信の強化                  2. 適切なアセスメントによる自立支援に向けた個別支援の計画立案とサービス提供                  3. 職員のスキルアップ・人材育成のため療護部と合同での研修の充実並びに外部研修及び自主研修への積極的な参画                  5. 介護事故等の対策強化による安全・安心なサービスの提供                  6. 新型コロナウイルス感染症予防への取り組み</p> <p>退所者が出てから新入所までの期間を極力短縮すること、通所においては登録者及び利用者の新規獲得を図り、入所通所ともに利用率向上を目指す。また、利用者にとって目的の持てる生活支援を目指し、地域移行の可能性も模索する。利用者の高齢化・重度化に対しては介護保険利用への移行について検討する。これらの計画推進に携われるよう職員の資質向上に取り組む。</p> <p>新型コロナウイルス感染症防止対策を継続し、そのことで停止中止している行事や日中活動に対して、代替えとなるサービスを企画実行する。</p>												
利用者サービス等	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="240 663 400 853">相談支援</td> <td data-bbox="400 663 1439 853">                     1. ケアガイドラインに沿った個別支援計画の策定及び充実を図る。                      2. 利用者確保に向けた広報活動（HP・広報誌の充実と関係機関の訪問等）の取り組みを強化する。                      3. 管内の相談支援事業所等と顔の見える関係を構築し連携強化を図る。                      4. 入所相談時には適切に情報収集を行い、迅速に入所に向けた調整を行う。                 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="240 853 400 1010">介護（生活支援）</td> <td data-bbox="400 853 1439 1010">                     1. 利用者個々の適切なアセスメントによる個別支援の強化                      2. ケアガイドラインの取り組みによるサービスの質の向上                      3. 療護部との業務協力及び連携の強化                      4. ウェブ面会等にて家族とのつながりを支援                 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="240 1010 400 1167">健康管理（保健衛生）</td> <td data-bbox="400 1010 1439 1167">                     1. 早期対応による健康管理及び他職種（特に介護職員）との情報共有と連携。                      2. 新型コロナウイルス感染症予防及び迅速な対応並びに関連する研修の実施。                      3. 医療の重度利用者への対応。                      4. ケアガイドラインの取り組みによるサービスの質の向上。                 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="240 1167 400 1245">機能訓練</td> <td data-bbox="400 1167 1439 1245">                     1. 身体機能並びに生活能力向上を目指した個別支援計画の立案と実施。                      2. 訓練グループによる業務連携並びに業務改善。                 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="240 1245 400 1368">給食（栄養管理）</td> <td data-bbox="400 1245 1439 1368">                     1. 必要摂取量確保のため自助食器の導入及び残菜調査等による献立内容の検討                      2. 咀嚼・嚥下状態にあった食事の工夫及び適温提供の推進                      3. 他職種と連携しながら食事レク等を充実させる。                 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="240 1368 400 1559">余暇支援（行事等）</td> <td data-bbox="400 1368 1439 1559">                     季節や利用者の個別支援に沿った行事やレク、クラブ活動を実施する。新型コロナウイルス感染症予防のため中止の場合は、施設内での代替行事をできるだけ企画する。                      主な行事) ①秋の祭典 ②ショッピング ③夏祭り ④忘年会                      ⑤カラオケ大会 ⑥野外レク ⑦もちつき ⑧虹鱒釣り ⑨その他                      クラブ活動) ①カラオケクラブ ②生花クラブ                 </td> </tr> </table>	相談支援	1. ケアガイドラインに沿った個別支援計画の策定及び充実を図る。 2. 利用者確保に向けた広報活動（HP・広報誌の充実と関係機関の訪問等）の取り組みを強化する。 3. 管内の相談支援事業所等と顔の見える関係を構築し連携強化を図る。 4. 入所相談時には適切に情報収集を行い、迅速に入所に向けた調整を行う。	介護（生活支援）	1. 利用者個々の適切なアセスメントによる個別支援の強化 2. ケアガイドラインの取り組みによるサービスの質の向上 3. 療護部との業務協力及び連携の強化 4. ウェブ面会等にて家族とのつながりを支援	健康管理（保健衛生）	1. 早期対応による健康管理及び他職種（特に介護職員）との情報共有と連携。 2. 新型コロナウイルス感染症予防及び迅速な対応並びに関連する研修の実施。 3. 医療の重度利用者への対応。 4. ケアガイドラインの取り組みによるサービスの質の向上。	機能訓練	1. 身体機能並びに生活能力向上を目指した個別支援計画の立案と実施。 2. 訓練グループによる業務連携並びに業務改善。	給食（栄養管理）	1. 必要摂取量確保のため自助食器の導入及び残菜調査等による献立内容の検討 2. 咀嚼・嚥下状態にあった食事の工夫及び適温提供の推進 3. 他職種と連携しながら食事レク等を充実させる。	余暇支援（行事等）	季節や利用者の個別支援に沿った行事やレク、クラブ活動を実施する。新型コロナウイルス感染症予防のため中止の場合は、施設内での代替行事をできるだけ企画する。 主な行事) ①秋の祭典 ②ショッピング ③夏祭り ④忘年会 ⑤カラオケ大会 ⑥野外レク ⑦もちつき ⑧虹鱒釣り ⑨その他 クラブ活動) ①カラオケクラブ ②生花クラブ
相談支援	1. ケアガイドラインに沿った個別支援計画の策定及び充実を図る。 2. 利用者確保に向けた広報活動（HP・広報誌の充実と関係機関の訪問等）の取り組みを強化する。 3. 管内の相談支援事業所等と顔の見える関係を構築し連携強化を図る。 4. 入所相談時には適切に情報収集を行い、迅速に入所に向けた調整を行う。												
介護（生活支援）	1. 利用者個々の適切なアセスメントによる個別支援の強化 2. ケアガイドラインの取り組みによるサービスの質の向上 3. 療護部との業務協力及び連携の強化 4. ウェブ面会等にて家族とのつながりを支援												
健康管理（保健衛生）	1. 早期対応による健康管理及び他職種（特に介護職員）との情報共有と連携。 2. 新型コロナウイルス感染症予防及び迅速な対応並びに関連する研修の実施。 3. 医療の重度利用者への対応。 4. ケアガイドラインの取り組みによるサービスの質の向上。												
機能訓練	1. 身体機能並びに生活能力向上を目指した個別支援計画の立案と実施。 2. 訓練グループによる業務連携並びに業務改善。												
給食（栄養管理）	1. 必要摂取量確保のため自助食器の導入及び残菜調査等による献立内容の検討 2. 咀嚼・嚥下状態にあった食事の工夫及び適温提供の推進 3. 他職種と連携しながら食事レク等を充実させる。												
余暇支援（行事等）	季節や利用者の個別支援に沿った行事やレク、クラブ活動を実施する。新型コロナウイルス感染症予防のため中止の場合は、施設内での代替行事をできるだけ企画する。 主な行事) ①秋の祭典 ②ショッピング ③夏祭り ④忘年会 ⑤カラオケ大会 ⑥野外レク ⑦もちつき ⑧虹鱒釣り ⑨その他 クラブ活動) ①カラオケクラブ ②生花クラブ												
人材育成（職員確保）	<p>1. 法人研修、合同研修、外部研修などの参加を促しスキルアップに繋げていく。                  2. 意見の言い合える風通しの良い職場環境づくりを行う。                  3. 個人面談などを通して、離職防止に努める。</p>												
研修計画	<p>1. 法人研修委員会及び療護との合同研修委員会による取り組みにより、研修内容の充実を図る。療護部と共同でケアガイドライン（全身障協）に取り組む。                  2. 社会福祉研修所研修等の外部研修へのオンライン参加や他施設間との交流方法を検討し、情報収集や業務改善、職員の知識・技術の向上に努める。</p>												
施設管理等	<p>1. 防災対策を強化し、事故防止を図る。                  2. 安心・安全なサービス提供を目標とし、虐待防止に取り組み利用者の権利擁護並びに職場環境の改善を推進する。                  3. 新型コロナウイルス感染症予防として衛生用品の備蓄、予防知識と技術の周知を図る。</p>												
その他													

令和3年度療護部事業計画（概要）

運営方針	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 施設整備計画並びに老朽化対策への提言</li> <li>2. 利用者の安定確保のための広報活動・情報発信の強化</li> <li>3. 適切なアセスメントによる自立支援に向けた個別支援の計画立案とサービス提供</li> <li>4. 職員のスキルアップ・人材育成のため更生部と合同での研修並びに外部及び自主研修への積極的な参画</li> <li>5. 介護事故等の対策の強化による安全・安心なサービスの提供</li> <li>6. 新型コロナウイルス感染症予防への取り組み</li> </ol> <p>利用者確保に向け、医療機関・行政機関・相談支援事業所との連携を強め対象者情報の共有を図る。短期入所についても新型コロナウイルス感染症予防を図りながら従来通りの受け入れができるよう検討する。建物・設備の老朽化対応については法人としての課題であるが当該事業所として積極的な提言をしていく。利用者サービスについては従来通り安心・安全に過ごして頂くため利用者のアセスメントを実施し、リスク管理にも努めながら適切なサービスの提供に努めるが ケースにおいては介護保険サービスへの移行も検討し、利用者の個々のニーズを踏まえた事業運営を目指したい。新型コロナウイルス感染症防止対策を継続し、そのことで停止中止している行事や日中活動については代替えとなるサービスを企画実行する。</p>												
利用者サービス等	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="240 667 400 869">相談支援</td> <td data-bbox="400 667 1428 869"> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ケアガイドラインに沿った個別支援計画の策定及び充実を図る。</li> <li>2. 利用者確保に向けた広報活動（HP・広報誌の充実と関係機関の訪問等）の取り組みを図る。</li> <li>3. 管内の相談支援事業所等と顔の見える関係を構築し連携強化を図る。</li> <li>4. 入所相談時には適切に情報収集を行い、迅速に入所調整を行う。</li> </ol> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="240 869 400 1025">介護（生活支援）</td> <td data-bbox="400 869 1428 1025"> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 利用者個々の適切なアセスメントによる個別支援の強化。</li> <li>2. ケアガイドラインの取り組みによるサービスの質の向上。</li> <li>3. 更生部との業務協力及び連携の強化。</li> <li>4. ウェブ面会等にて家族とのつながりを支援。</li> </ol> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="240 1025 400 1182">健康管理（保健衛生）</td> <td data-bbox="400 1025 1428 1182"> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 早期対応による健康管理及び他職種（特に介護職員）との情報共有と連携。</li> <li>2. 新型コロナウイルス感染症の予防及び迅速な対応と関連する研修の実施。</li> <li>3. 医療の重度利用者への対応。</li> <li>4. ケアガイドラインの取り組みによるサービスの質の向上。</li> </ol> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="240 1182 400 1249">機能訓練</td> <td data-bbox="400 1182 1428 1249"> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 個々の利用者の訓練計画を策定し、身体機能の維持・向上を図っていく。</li> </ol> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="240 1249 400 1361">給食（栄養管理）</td> <td data-bbox="400 1249 1428 1361"> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 必要摂取量確保のため自助食器の導入及び残菜調査等による献立内容の検討</li> <li>2. 咀嚼・嚥下状態にあった食事の工夫及び適温提供の推進</li> <li>3. 食事レク等での企画と参加及び他職種との連携</li> </ol> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="240 1361 400 1552">余暇支援（行事等）</td> <td data-bbox="400 1361 1428 1552"> <p>季節や利用者の個別支援に沿った行事やレク、クラブ活動を実施する。新型コロナウイルス感染症予防のために中止の場合は施設内での代替行事をできるだけ企画する。（主な行事）①秋の祭典 ②ショッピング ③夏祭り ④忘年会 ⑤カラオケ大会 ⑥野外レク ⑦もちつき ⑧虹鱒釣り ⑨その他（クラブ活動）①カラオケクラブ ②生花クラブ</p> </td> </tr> </table>	相談支援	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ケアガイドラインに沿った個別支援計画の策定及び充実を図る。</li> <li>2. 利用者確保に向けた広報活動（HP・広報誌の充実と関係機関の訪問等）の取り組みを図る。</li> <li>3. 管内の相談支援事業所等と顔の見える関係を構築し連携強化を図る。</li> <li>4. 入所相談時には適切に情報収集を行い、迅速に入所調整を行う。</li> </ol>	介護（生活支援）	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 利用者個々の適切なアセスメントによる個別支援の強化。</li> <li>2. ケアガイドラインの取り組みによるサービスの質の向上。</li> <li>3. 更生部との業務協力及び連携の強化。</li> <li>4. ウェブ面会等にて家族とのつながりを支援。</li> </ol>	健康管理（保健衛生）	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 早期対応による健康管理及び他職種（特に介護職員）との情報共有と連携。</li> <li>2. 新型コロナウイルス感染症の予防及び迅速な対応と関連する研修の実施。</li> <li>3. 医療の重度利用者への対応。</li> <li>4. ケアガイドラインの取り組みによるサービスの質の向上。</li> </ol>	機能訓練	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 個々の利用者の訓練計画を策定し、身体機能の維持・向上を図っていく。</li> </ol>	給食（栄養管理）	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 必要摂取量確保のため自助食器の導入及び残菜調査等による献立内容の検討</li> <li>2. 咀嚼・嚥下状態にあった食事の工夫及び適温提供の推進</li> <li>3. 食事レク等での企画と参加及び他職種との連携</li> </ol>	余暇支援（行事等）	<p>季節や利用者の個別支援に沿った行事やレク、クラブ活動を実施する。新型コロナウイルス感染症予防のために中止の場合は施設内での代替行事をできるだけ企画する。（主な行事）①秋の祭典 ②ショッピング ③夏祭り ④忘年会 ⑤カラオケ大会 ⑥野外レク ⑦もちつき ⑧虹鱒釣り ⑨その他（クラブ活動）①カラオケクラブ ②生花クラブ</p>
相談支援	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ケアガイドラインに沿った個別支援計画の策定及び充実を図る。</li> <li>2. 利用者確保に向けた広報活動（HP・広報誌の充実と関係機関の訪問等）の取り組みを図る。</li> <li>3. 管内の相談支援事業所等と顔の見える関係を構築し連携強化を図る。</li> <li>4. 入所相談時には適切に情報収集を行い、迅速に入所調整を行う。</li> </ol>												
介護（生活支援）	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 利用者個々の適切なアセスメントによる個別支援の強化。</li> <li>2. ケアガイドラインの取り組みによるサービスの質の向上。</li> <li>3. 更生部との業務協力及び連携の強化。</li> <li>4. ウェブ面会等にて家族とのつながりを支援。</li> </ol>												
健康管理（保健衛生）	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 早期対応による健康管理及び他職種（特に介護職員）との情報共有と連携。</li> <li>2. 新型コロナウイルス感染症の予防及び迅速な対応と関連する研修の実施。</li> <li>3. 医療の重度利用者への対応。</li> <li>4. ケアガイドラインの取り組みによるサービスの質の向上。</li> </ol>												
機能訓練	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 個々の利用者の訓練計画を策定し、身体機能の維持・向上を図っていく。</li> </ol>												
給食（栄養管理）	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 必要摂取量確保のため自助食器の導入及び残菜調査等による献立内容の検討</li> <li>2. 咀嚼・嚥下状態にあった食事の工夫及び適温提供の推進</li> <li>3. 食事レク等での企画と参加及び他職種との連携</li> </ol>												
余暇支援（行事等）	<p>季節や利用者の個別支援に沿った行事やレク、クラブ活動を実施する。新型コロナウイルス感染症予防のために中止の場合は施設内での代替行事をできるだけ企画する。（主な行事）①秋の祭典 ②ショッピング ③夏祭り ④忘年会 ⑤カラオケ大会 ⑥野外レク ⑦もちつき ⑧虹鱒釣り ⑨その他（クラブ活動）①カラオケクラブ ②生花クラブ</p>												
人材育成（職員確保）	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 法人研修、合同研修、外部研修などの参加を促しスキルアップに繋げていく。</li> <li>2. 意見の言い合える風通しの良い職場環境づくりを行う。</li> <li>3. 個人面談などを通して、離職防止に努める。</li> </ol>												
研修計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 法人研修委員会及び更生との合同研修委員会による取り組みにより、研修内容の充実を図る。更生部と共同でケアガイドライン（全身障協）に取り組む。</li> <li>2. 社会福祉研修所研修等の外部研修へのオンライン参加や他施設間との交流方法を考え、情報収集や業務改善、職員の知識・技術の向上に努める。</li> </ol>												
施設管理等	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 防災・防犯対策を強化し、事故防止を図る。</li> <li>2. 安心・安全なサービス提供を目標とし、虐待防止に取り組み利用者の権利擁護並びに職場環境の改善を推進する。</li> <li>3. 新型コロナウイルス感染症予防として衛生用品の備蓄、予防知識と技術の周知を図る。</li> </ol>												
その他													

令和3年度 特養部 事業計画（概要）

<p>運営方針</p>	<p>令和2年はコロナ感染対策の徹底を要したが、利用者・職員共感染者なく経過した。入所稼働率は概ね維持できたが、転倒等による骨折事故が多く、それに伴う入院も多かった。また言葉遣いや挨拶を含めた接遇面の課題も多く散見され、福祉・介護施設職員としての資質向上への課題が顕在化する形となった。</p> <p>令和3年度においても、引き続き稼働率維持を目標に、コロナ感染対策の強化を図りながら利用者・家族の意向を踏まえた、サービスの提供を図っていく。制度改正に伴う、科学的介護推進体制加算やADL加算等の新たな加算算定に向け、書類整備等の体制整備を図り、新たに開催必須となる高齢者虐待・不適切ケア防止委員会を定期に開催し虐待・不適切ケアの防止と職員の意識改革を図る。骨折事故防止に向けた対策の強化。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 入所利用者の確保と職員体制の維持</li> <li>2. アセスメントによる利用者状況の把握と職種間連携の強化</li> <li>3. 介護保険施設としての法令順守</li> <li>4. 虐待・不適切ケア防止に向けた委員会の開催</li> <li>5. ハラスメント（パワハラ・セクハラ等）行為全般の禁止</li> </ol>												
<p>利用者サービス等</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="247 772 422 969"> <p>相談支援</p> </td> <td data-bbox="422 772 1428 969"> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.利用者や家族の意向・ニーズ把握とケアプランへの反映</li> <li>2.アセスメントを踏まえたケアプランの作成と関連諸記録の整備</li> <li>3.請求業務における複数確認制により請求業務の適正化を図る。</li> <li>4.入所利用者の確保に向けた関係事業所との連携強化</li> <li>5.Web面会の継続実施に向けた支援の継続</li> </ol> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="247 969 422 1126"> <p>介護 (生活支援)</p> </td> <td data-bbox="422 969 1428 1126"> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.介護サービス提供者としての接遇の向上</li> <li>2.アセスメントを踏まえたケアプランに基づくサービス提供</li> <li>3.利用者の安心した生活に向けた介護技術の向上</li> <li>4.制度改正による併設の友活の里との兼務体制構築に向け、協力体制を検討する。</li> </ol> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="247 1126 422 1294"> <p>看護 (健康管理)</p> </td> <td data-bbox="422 1126 1428 1294"> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.日常的な利用者への健康管理の実施</li> <li>2.コロナ等の感染対策に向けた利用者・職員への医療的助言及び指導</li> <li>3.利用者の受診・入退院調整と一時的な投薬受診等の継続検討</li> <li>4.従来からの日直勤務とオンコール体制の継続、併設友活の里との兼務維持。</li> </ol> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="247 1294 422 1413"> <p>機能訓練</p> </td> <td data-bbox="422 1294 1428 1413"> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.利用者の意向を踏まえた、ケアプラン・訓練計画に基づいた訓練の提供。</li> <li>2.歩行訓練等の個別訓練に加えた、集団での体操等の多様な訓練の実施</li> </ol> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="247 1413 422 1547"> <p>給食 (栄養管理)</p> </td> <td data-bbox="422 1413 1428 1547"> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.利用者個々の嗜好を把握と食形態の検討</li> <li>2.栄養マネジメントの実施、新たな栄養加算の取得に向けた体制整備 食事を伴う施設内行事、レクへの参画</li> </ol> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="247 1547 422 1653"> <p>余暇支援 (行事等)</p> </td> <td data-bbox="422 1547 1428 1653"> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.コロナ禍での外出行事が制約される中での施設内余暇行事の検討</li> <li>2.法人内全体行事への参加、利用者個別外出等の適宜検討</li> </ol> </td> </tr> </table>	<p>相談支援</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.利用者や家族の意向・ニーズ把握とケアプランへの反映</li> <li>2.アセスメントを踏まえたケアプランの作成と関連諸記録の整備</li> <li>3.請求業務における複数確認制により請求業務の適正化を図る。</li> <li>4.入所利用者の確保に向けた関係事業所との連携強化</li> <li>5.Web面会の継続実施に向けた支援の継続</li> </ol>	<p>介護 (生活支援)</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.介護サービス提供者としての接遇の向上</li> <li>2.アセスメントを踏まえたケアプランに基づくサービス提供</li> <li>3.利用者の安心した生活に向けた介護技術の向上</li> <li>4.制度改正による併設の友活の里との兼務体制構築に向け、協力体制を検討する。</li> </ol>	<p>看護 (健康管理)</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.日常的な利用者への健康管理の実施</li> <li>2.コロナ等の感染対策に向けた利用者・職員への医療的助言及び指導</li> <li>3.利用者の受診・入退院調整と一時的な投薬受診等の継続検討</li> <li>4.従来からの日直勤務とオンコール体制の継続、併設友活の里との兼務維持。</li> </ol>	<p>機能訓練</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.利用者の意向を踏まえた、ケアプラン・訓練計画に基づいた訓練の提供。</li> <li>2.歩行訓練等の個別訓練に加えた、集団での体操等の多様な訓練の実施</li> </ol>	<p>給食 (栄養管理)</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.利用者個々の嗜好を把握と食形態の検討</li> <li>2.栄養マネジメントの実施、新たな栄養加算の取得に向けた体制整備 食事を伴う施設内行事、レクへの参画</li> </ol>	<p>余暇支援 (行事等)</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.コロナ禍での外出行事が制約される中での施設内余暇行事の検討</li> <li>2.法人内全体行事への参加、利用者個別外出等の適宜検討</li> </ol>
<p>相談支援</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.利用者や家族の意向・ニーズ把握とケアプランへの反映</li> <li>2.アセスメントを踏まえたケアプランの作成と関連諸記録の整備</li> <li>3.請求業務における複数確認制により請求業務の適正化を図る。</li> <li>4.入所利用者の確保に向けた関係事業所との連携強化</li> <li>5.Web面会の継続実施に向けた支援の継続</li> </ol>												
<p>介護 (生活支援)</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.介護サービス提供者としての接遇の向上</li> <li>2.アセスメントを踏まえたケアプランに基づくサービス提供</li> <li>3.利用者の安心した生活に向けた介護技術の向上</li> <li>4.制度改正による併設の友活の里との兼務体制構築に向け、協力体制を検討する。</li> </ol>												
<p>看護 (健康管理)</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.日常的な利用者への健康管理の実施</li> <li>2.コロナ等の感染対策に向けた利用者・職員への医療的助言及び指導</li> <li>3.利用者の受診・入退院調整と一時的な投薬受診等の継続検討</li> <li>4.従来からの日直勤務とオンコール体制の継続、併設友活の里との兼務維持。</li> </ol>												
<p>機能訓練</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.利用者の意向を踏まえた、ケアプラン・訓練計画に基づいた訓練の提供。</li> <li>2.歩行訓練等の個別訓練に加えた、集団での体操等の多様な訓練の実施</li> </ol>												
<p>給食 (栄養管理)</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.利用者個々の嗜好を把握と食形態の検討</li> <li>2.栄養マネジメントの実施、新たな栄養加算の取得に向けた体制整備 食事を伴う施設内行事、レクへの参画</li> </ol>												
<p>余暇支援 (行事等)</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.コロナ禍での外出行事が制約される中での施設内余暇行事の検討</li> <li>2.法人内全体行事への参加、利用者個別外出等の適宜検討</li> </ol>												
<p>人材育成 (職員確保) 研修計画</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.事業所内研修への参加（「全体会議」「介護会議」「相談課会議」「看護職会議」）</li> <li>2.法人内研修への参加</li> <li>3.コロナ対策を含めた感染防止委員会・事故防止委員会・身体拘束廃止委員会、新設必須開催の高齢者虐待・不適切ケア防止委員会等の定期開催により感染症や不適切ケア、虐待防止について事業所全体での学び共通認識を図る。</li> </ol>												
<p>施設管理等</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 続発する転倒・骨折事故防止に向け、施設全体で対応策を検討する。</li> <li>2. 備品台帳を整備、経費節減による経営の安定化を図る。</li> </ol>												

令和3年度 特養部短期入所 事業計画（概要）

<p>運営方針</p>	<p>令和2年はコロナ感染対策の中での事業実施となったが、利用控えも影響してか前年よりも稼働率が下回った。利用定員を6床と2床増床しての運営となったが、特養部の職員体制が十分に整わない状況も影響した。</p> <p>令和3年度においても、感染症対策の継続を要するが、町内の限られた短期入所事業所として在宅生活を継続する利用者及び家族のニーズに応えるため、可能な限りの受入れを行い、目標稼働率（80%）維持に向け事業所全職員協力のもと支援を継続していく。ここ数年増加している在宅での重度認知症利用者の利用ニーズを踏まえ、認知症ケアに関して学びを深め、接遇の向上を図りながら、事業運営を継続していく。今後も特養部内での入所支援と一体的な支援体制を継続し、職員・職種間での連携を図り、短期入所者の安心した生活を提供する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 入所利用者の確保と特養入所本体部門との一体的な事業運営の継続</li> <li>2. アセスメントによる利用者状況の把握と職種間連携の強化</li> <li>3. 介護保険事業所（短期入所）としての法令順守</li> <li>4. 高齢者虐待・不適切ケア防止に向けたケアサービスの提供</li> <li>5. 本体特養と同様にハラスメント（パワハラ・セクハラ等）行為全般の禁止</li> </ol>												
<p>利用者サービス等</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="240 808 422 1003"> <p>相談支援</p> </td> <td data-bbox="422 808 1420 1003"> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.短期入所利用者や家族の意向・ニーズ把握とケアプランへの反映</li> <li>2.アセスメントを踏まえたサービス計画の作成と関連諸記録の整備</li> <li>3.請求業務における事業所内での複数確認制により請求業務の適正化を図る。</li> <li>4.入所利用者の確保に向けた関係事業所との連携強化と情報提供</li> <li>5.長期利用者へのWeb面会の活用も含めた利用者・家族支援の継続</li> </ol> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="240 1003 422 1144"> <p>介護 (生活支援)</p> </td> <td data-bbox="422 1003 1420 1144"> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.介護サービス提供者としての接遇の向上</li> <li>2.在宅生活の継続に向けたケアプランに基づくサービス提供</li> <li>3.利用者の安心した生活に向けた介護技術の向上</li> </ol> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="240 1144 422 1312"> <p>看護 (健康管理)</p> </td> <td data-bbox="422 1144 1420 1312"> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.入所利用者と同様に、日常的な健康管理の実施</li> <li>2.コロナ等の感染対策に向けた利用者・職員への医療的助言及び指導</li> <li>3.体調急変時の対応と家族への受診対応等の助言</li> </ol> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="240 1312 422 1435"> <p>機能訓練</p> </td> <td data-bbox="422 1312 1420 1435"> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.利用者の意向を踏まえた、ケアプラン・訓練計画に基づいた訓練の提供。</li> <li>2.在宅生活維持に向けた歩行訓練等の個別・集団訓練の実施</li> </ol> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="240 1435 422 1570"> <p>給食 (栄養管理)</p> </td> <td data-bbox="422 1435 1420 1570"> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.利用者個々の嗜好を把握と食形態の検討</li> <li>2.栄養マネジメントの実施、新たな栄養加算の取得に向けた体制整備</li> <li>3.食事を伴う施設内行事、レクへの参画</li> </ol> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="240 1570 422 1675"> <p>余暇支援 (行事等)</p> </td> <td data-bbox="422 1570 1420 1675"> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.特養利用者との合同の施設内余暇行事の検討</li> <li>2.法人内全体行事への参加、利用者個別外出等の適宜検討</li> </ol> </td> </tr> </table>	<p>相談支援</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.短期入所利用者や家族の意向・ニーズ把握とケアプランへの反映</li> <li>2.アセスメントを踏まえたサービス計画の作成と関連諸記録の整備</li> <li>3.請求業務における事業所内での複数確認制により請求業務の適正化を図る。</li> <li>4.入所利用者の確保に向けた関係事業所との連携強化と情報提供</li> <li>5.長期利用者へのWeb面会の活用も含めた利用者・家族支援の継続</li> </ol>	<p>介護 (生活支援)</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.介護サービス提供者としての接遇の向上</li> <li>2.在宅生活の継続に向けたケアプランに基づくサービス提供</li> <li>3.利用者の安心した生活に向けた介護技術の向上</li> </ol>	<p>看護 (健康管理)</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.入所利用者と同様に、日常的な健康管理の実施</li> <li>2.コロナ等の感染対策に向けた利用者・職員への医療的助言及び指導</li> <li>3.体調急変時の対応と家族への受診対応等の助言</li> </ol>	<p>機能訓練</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.利用者の意向を踏まえた、ケアプラン・訓練計画に基づいた訓練の提供。</li> <li>2.在宅生活維持に向けた歩行訓練等の個別・集団訓練の実施</li> </ol>	<p>給食 (栄養管理)</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.利用者個々の嗜好を把握と食形態の検討</li> <li>2.栄養マネジメントの実施、新たな栄養加算の取得に向けた体制整備</li> <li>3.食事を伴う施設内行事、レクへの参画</li> </ol>	<p>余暇支援 (行事等)</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.特養利用者との合同の施設内余暇行事の検討</li> <li>2.法人内全体行事への参加、利用者個別外出等の適宜検討</li> </ol>
<p>相談支援</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.短期入所利用者や家族の意向・ニーズ把握とケアプランへの反映</li> <li>2.アセスメントを踏まえたサービス計画の作成と関連諸記録の整備</li> <li>3.請求業務における事業所内での複数確認制により請求業務の適正化を図る。</li> <li>4.入所利用者の確保に向けた関係事業所との連携強化と情報提供</li> <li>5.長期利用者へのWeb面会の活用も含めた利用者・家族支援の継続</li> </ol>												
<p>介護 (生活支援)</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.介護サービス提供者としての接遇の向上</li> <li>2.在宅生活の継続に向けたケアプランに基づくサービス提供</li> <li>3.利用者の安心した生活に向けた介護技術の向上</li> </ol>												
<p>看護 (健康管理)</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.入所利用者と同様に、日常的な健康管理の実施</li> <li>2.コロナ等の感染対策に向けた利用者・職員への医療的助言及び指導</li> <li>3.体調急変時の対応と家族への受診対応等の助言</li> </ol>												
<p>機能訓練</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.利用者の意向を踏まえた、ケアプラン・訓練計画に基づいた訓練の提供。</li> <li>2.在宅生活維持に向けた歩行訓練等の個別・集団訓練の実施</li> </ol>												
<p>給食 (栄養管理)</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.利用者個々の嗜好を把握と食形態の検討</li> <li>2.栄養マネジメントの実施、新たな栄養加算の取得に向けた体制整備</li> <li>3.食事を伴う施設内行事、レクへの参画</li> </ol>												
<p>余暇支援 (行事等)</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.特養利用者との合同の施設内余暇行事の検討</li> <li>2.法人内全体行事への参加、利用者個別外出等の適宜検討</li> </ol>												
<p>人材育成 (職員確保) 研修計画</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.事業所内研修への参加（「全体会議」「介護会議」「相談課会議」）</li> <li>2.法人内研修への参加</li> <li>3.コロナ対策を含めた感染防止委員会・事故防止委員会・身体拘束廃止委員会、新設必須開催の高齢者虐待・不適切ケア防止委員会等の定期開催により感染症や不適切ケア、虐待防止について事業所全体での学び共通認識を図る。</li> </ol>												
<p>施設管理等</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 続発する転倒・骨折事故防止に向け、施設全体で対応策を検討する。</li> <li>2. 備品台帳を整備、経費節減による経営の安定化を図る。</li> </ol>												

令和3年度 友活の里 事業計画（概要）

<p>運営方針</p>	<p>開設1年目の令和2年は、上期において早期に満床となり稼働率維持に繋がった。転倒による骨折事故とそれに伴う入院も多くなり、空床長期化の一因となった。入居者個々のアセスメント不足と職員間での情報共有不足も事故要因と思われ、ケアカンファレンスの充実による情報共有とケアプランに基づいたサービスの提供が必要であり、今後も継続的な課題となっている。コロナ感染症対策を講じてのサービス提供の中で、入居者・職員とも感染者なく経過し、引き続きの感染対策の徹底を要している。令和3年度においても、引き続き稼働率維持（年間95%）を目標に、コロナ感染対策の強化を図りながら入居利用者・家族の意向を踏まえた、サービスの提供を図っていく。令和3年度の介護報酬・制度改正において、科学的介護推進体制加算やADL加算等の新たな加算算定に向け、書類整備等の体制整備を図り、新たに開催必須となる高齢者虐待・不適切ケア防止委員会を定期に開催し虐待・不適切ケアの防止と職員の意識改革を図る。骨折事故防止に向けた対策を強化し、近隣特養で既に取り組んでいる看取りケアについても、地域の要請も多く、ユニットケアの推進とあわせて、実践実現に向けた検討を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 入居利用者の確保と職員体制の維持、コロナ感染症対策の継続</li> <li>2. アセスメントによる利用者状況の把握と職種間連携、チームケアの強化</li> <li>3. ユニット毎でのケアカンファレンスの実施とケアプランに基づいたサービス提供</li> <li>4. 虐待・不適切ケア防止に向けた委員会の開催</li> <li>5. ハラスメント（パワハラ・セクハラ等）行為全般の禁止</li> </ol>	
<p>利用者サービス等</p>	<p>相談支援</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.入居者や家族の意向・ニーズ把握とケアプランへの反映</li> <li>2.アセスメントを踏まえたケアプランの作成と関連諸記録の整備</li> <li>3.請求業務における複数確認制により請求業務の適正化を図る。</li> <li>4.入所利用者の確保に向けた関係事業所との連携強化</li> <li>5.Web面会の継続実施に向けた支援の継続</li> </ol>
	<p>介護 (生活支援)</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.介護サービス提供者としての接遇の向上</li> <li>2.アセスメントを踏まえたケアプランに基づくサービス提供</li> <li>3.利用者の安心した生活に向けた介護技術の向上</li> <li>4.兼務可能となる併設特養部との勤務体制の構築を模索する。</li> </ol>
	<p>看護 (健康管理)</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.日常的な利用者への健康管理の実施</li> <li>2.コロナ等の感染対策に向けた利用者・職員への医療的助言及び指導</li> <li>3.利用者の受診・入退院調整と一時的な投薬受診等の継続検討</li> <li>4.従来の日直勤務とオンコール体制の継続。併設特養部との兼務体制維持。</li> </ol>
	<p>機能訓練</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.利用者の意向を踏まえた、ケアプラン・訓練計画に基づいた訓練の提供。</li> <li>2.歩行訓練等の個別訓練に加えた、集団での体操等の多様な訓練の実施</li> </ol>
	<p>給食 (栄養管理)</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.利用者個々の嗜好を把握と食形態の検討</li> <li>2.栄養マネジメントの実施、新たな栄養加算の取得に向けた体制整備 食事を伴う施設内行事、レクへの参画</li> </ol>
	<p>余暇支援 (行事等)</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.コロナ禍での外出行事が制約される中での施設内余暇行事の検討</li> <li>2.法人内全体行事への参加、利用者個別外出等の適宜検討</li> </ol>
	<p>人材育成 (職員確保) 研修計画</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.事業所内研修への参加（「全体会議」「介護会議」「相談課会議」）</li> <li>2.法人内研修への参加</li> <li>3.コロナ対策を含めた感染防止委員会・事故防止委員会・身体拘束廃止委員会、新設必須開催の高齢者虐待・不適切ケア防止委員会等の定期開催により感染症や不適切ケア、虐待防止について事業所全体での学び共通認識を図る。</li> </ol>
	<p>施設管理等</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 続発する転倒・骨折事故防止に向け、施設全体で対応策を検討する。</li> <li>2. 備品台帳を整備、経費節減による経営の安定化を図る。</li> </ol>

## 令和3年度 老人デイサービス事業計画（概要）

運営方針	<p>令和2年は、コロナ禍に有りながらも、利用者・職員に感染者も出ず、順調に経過し当初計画のとおり事業推進ができた。他の事業所が土曜日に営業しておらず利用者が増加傾向にある。</p> <p>令和3年度も、引き続きコロナ対応が重要であり、更に感染症対策を強化しながら利用者が求めるサービスを提供していく。介護報酬の改定がなされ、更に自立支援が求められており、科学的介護と併せて検討がしていく。報酬改訂も行われるが、加算要件を満たしながら報酬の確保に取り組む。送迎時の安全運転・事故や利用中の転倒事故等の防止に努める。不適切ケアや言葉遣いにも引き続き気をつけていく。</p> <p>今年度も、評価頂いている事業所の基本姿勢（断らない・共に考える）を維持しながら課題となっている認知症利用者を中心とした重度利用者への対応方法を学び支援していく。アウトカム評価による日常生活動作の維持向上を図る。総合事業のプログラム検討・混合サービスの可能性についても引き続き検討を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 可能な限り在宅生活を維持できる支援としてのデイサービス事業を目指す。</li> <li>2. 自立支援を目指したサービスの提供。</li> <li>3. 利用者の確保。（関係機関への定期訪問・空き状況の情報提供）</li> <li>4. カンファレンスの適切な実施。</li> <li>5. 感染対策の徹底・送迎中や利用中の事故防止。</li> </ol>												
利用者サービス等	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">相談支援</td> <td> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 利用者の人権を尊重し、安心して在宅生活をおくれるように様々な相談に対応する。又、家族の相談にも対応する。</li> <li>2. 利用者・家族に対して、提供するサービス内容をわかり易く説明し、デイサービス利用の意義を理解して頂けるよう努める。</li> <li>3. 利用者の確保に務める。（ケアマネ事業所定期訪問・空所情報提供）</li> </ol> </td> </tr> <tr> <td>介護 (生活支援)</td> <td> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 利用者の自立支援の原則に立ち返り、在宅生活の継続支援を目指し、自分で出来ることを増やせるような支援を行っていく。</li> <li>2. ケアプランに基づくサービスの充実を図り、記録の整備を行う。</li> <li>3. 利用者情報の共有化を図り、ケアの質の向上を目指す。</li> <li>4. 業務の見直しによる効率化を目指す。</li> </ol> </td> </tr> <tr> <td>健康管理 (保健衛生)</td> <td> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 日常的に利用者の健康をチェックし、早期発見に努め、治療が必要な場合は医療機関との連携を図る。</li> <li>2. 感染症の予防に努め、介護職等に対する支援を行う。</li> </ol> </td> </tr> <tr> <td>機能訓練</td> <td> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 可能な限り機能の低下を防ぐため、個別の訓練計画を作成し、実施していく。</li> <li>2. 総合事業対象者の運動器機能訓練を適切に実施する。</li> </ol> </td> </tr> <tr> <td>給食 (栄養管理)</td> <td> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 利用者の嗜好を把握し、出来るだけ満足の得られる食事の提供に心掛ける。</li> <li>2. 食の大事さを利用者・職員に理解していただき、適切なマネジメントを行う。</li> </ol> </td> </tr> <tr> <td>余暇支援 (行事等)</td> <td> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 利用者が楽しめる行事や余暇活動を充実する。</li> <li>2. 法人全体で取り組む年間行事にも参加する。</li> </ol> </td> </tr> </table>	相談支援	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 利用者の人権を尊重し、安心して在宅生活をおくれるように様々な相談に対応する。又、家族の相談にも対応する。</li> <li>2. 利用者・家族に対して、提供するサービス内容をわかり易く説明し、デイサービス利用の意義を理解して頂けるよう努める。</li> <li>3. 利用者の確保に務める。（ケアマネ事業所定期訪問・空所情報提供）</li> </ol>	介護 (生活支援)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 利用者の自立支援の原則に立ち返り、在宅生活の継続支援を目指し、自分で出来ることを増やせるような支援を行っていく。</li> <li>2. ケアプランに基づくサービスの充実を図り、記録の整備を行う。</li> <li>3. 利用者情報の共有化を図り、ケアの質の向上を目指す。</li> <li>4. 業務の見直しによる効率化を目指す。</li> </ol>	健康管理 (保健衛生)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 日常的に利用者の健康をチェックし、早期発見に努め、治療が必要な場合は医療機関との連携を図る。</li> <li>2. 感染症の予防に努め、介護職等に対する支援を行う。</li> </ol>	機能訓練	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 可能な限り機能の低下を防ぐため、個別の訓練計画を作成し、実施していく。</li> <li>2. 総合事業対象者の運動器機能訓練を適切に実施する。</li> </ol>	給食 (栄養管理)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 利用者の嗜好を把握し、出来るだけ満足の得られる食事の提供に心掛ける。</li> <li>2. 食の大事さを利用者・職員に理解していただき、適切なマネジメントを行う。</li> </ol>	余暇支援 (行事等)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 利用者が楽しめる行事や余暇活動を充実する。</li> <li>2. 法人全体で取り組む年間行事にも参加する。</li> </ol>
相談支援	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 利用者の人権を尊重し、安心して在宅生活をおくれるように様々な相談に対応する。又、家族の相談にも対応する。</li> <li>2. 利用者・家族に対して、提供するサービス内容をわかり易く説明し、デイサービス利用の意義を理解して頂けるよう努める。</li> <li>3. 利用者の確保に務める。（ケアマネ事業所定期訪問・空所情報提供）</li> </ol>												
介護 (生活支援)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 利用者の自立支援の原則に立ち返り、在宅生活の継続支援を目指し、自分で出来ることを増やせるような支援を行っていく。</li> <li>2. ケアプランに基づくサービスの充実を図り、記録の整備を行う。</li> <li>3. 利用者情報の共有化を図り、ケアの質の向上を目指す。</li> <li>4. 業務の見直しによる効率化を目指す。</li> </ol>												
健康管理 (保健衛生)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 日常的に利用者の健康をチェックし、早期発見に努め、治療が必要な場合は医療機関との連携を図る。</li> <li>2. 感染症の予防に努め、介護職等に対する支援を行う。</li> </ol>												
機能訓練	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 可能な限り機能の低下を防ぐため、個別の訓練計画を作成し、実施していく。</li> <li>2. 総合事業対象者の運動器機能訓練を適切に実施する。</li> </ol>												
給食 (栄養管理)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 利用者の嗜好を把握し、出来るだけ満足の得られる食事の提供に心掛ける。</li> <li>2. 食の大事さを利用者・職員に理解していただき、適切なマネジメントを行う。</li> </ol>												
余暇支援 (行事等)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 利用者が楽しめる行事や余暇活動を充実する。</li> <li>2. 法人全体で取り組む年間行事にも参加する。</li> </ol>												
人材育成 (職員確保)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 経営の安定化を図るために、適正な人員管理を行う。</li> <li>2. 職員の資質の向上を目指して、職場内研修は二月に一度、課題を設定して実施する。資格取得の支援を継続する。</li> </ol>												
研修計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 施設内研修計画を立案し、デイ課題への取り組みや資質の向上を目指す。</li> <li>2. 社会福祉研修所研修等職種毎の外部研修に参加し、知識・技術の習得を図る。</li> </ol>												
施設管理等	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 各種加算が適切に請求できるよう管理する。特に利用定員の管理に注意する。</li> <li>2. 経営の安定化のために、適切な利用者の確保を目指す。</li> <li>3. 送迎中の車両事故や利用中の転倒等の事故防止に努める。</li> <li>4. 利用者サービスの向上のためにも、職員の健康管理・心のケアを実施できるよう職場環境の改善に努める。</li> </ol>												
その他	事業所スローガン「利用者様の声を聴きサービスの向上に努めます」												

## 令和3年度居宅・在介事業計画（概要）

運営方針	<p>令和2年度は、専従ケアマネ2名体制が確保なされ、前年度実績を上回る利用者確保が出来たが、コロナ禍での利用控え等もあり、大幅な利用者確保は出来なかった。又、地域相談会も開催できない状況が続いた。</p> <p>今年度もケアマネ2名体制を維持しながら利用者の確保と適切なケアプランを実施していく。数値目標を、請求可能な利用者数一人ケアマネあたり35ケースと設定する。</p> <p>白老町の地域包括的ケアサービスの拠点としての役割が求められており、天寿会の地域支援事業の中核として機能できるよう体制の構築を目指していく。</p> <p>在宅介護支援センターとしての役割強化と広報活動を強化していく。具体的には、地域相談会の開催や民生委員・町内会との情報交換会を計画する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 利用者に信頼されるケアプランを作成し、適切に実施していく。</li> <li>2. 関係機関等の連携と地域住民に信頼される関係を築いていく。</li> <li>3. 一人あたり35ケースを確保する。</li> </ol>	
利用者サービス等	相談支援	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 利用者の人権を尊重し、安心できる施設生活をおくれるように様々な相談に対応する。又、家族の相談にも対応する。</li> <li>2. 制度の主旨をしっかりと理解し、利用者・家族に信頼されるプランの作成を目指す。</li> <li>3. 介護保険制度、他の福祉諸制度の内容を正しく理解できるよう、利用者・家族に情報の提供を行い、いつでも相談できる体制を確立する。</li> <li>4. 在宅介護支援センターの役割として受託している85歳時訪問を適切に実施していく。地域相談会を実施し、地域の相談センター機能の充実を目指す。</li> </ol>
	介護 (生活支援)	
	健康管理 (保健衛生)	
	機能訓練	
	給食 (栄養管理)	
	余暇支援 (行事等)	
人材育成 (職員確保)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ケアマネ業務の実施には、資質の高いケアマネが求められており、積極的に外部研修等への参加を図り資質の向上を図る。</li> <li>2. 事業所内外でのケース検討会等に積極的に参加していく。</li> </ol>	
研修計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 介護保険の情報収集、地域のケアマネ等との連携、ケアマネ資質の向上を目指した研修を実施する。</li> <li>2. 社会福祉研修所研修等職種毎の外部研修に参加し、知識・技術の習得に心掛ける。</li> </ol>	
施設管理等	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 介護報酬を適切に理解し管理運営していく。</li> <li>2. 経営の安定化のために、適切な利用者の確保を目指す。</li> </ol>	

令和3年度 寿幸園事業計画（概要）

<p>運 営 方 針</p>	<p>1. 新型コロナウイルス感染症への対応 - 新型コロナウイルス感染症に対して感染防止委員会を中心にマニュアルの見直し、感染対策に係る研修などにより感染防止にしっかりと取り組んでいく。また、ご家族に対しては WEB 面会での交流支援及び広報誌の発信並びに各居室担当から定期的な写真発送などによる情報提供に努めていく。</p> <p>2. 利用者の安定的な確保</p> <p>① 待機者の状況を定期的に確認し入退所調整を迅速に行っていく。また、ショートステイについても事前情報を共有し積極的に受け入れていく。</p> <p>② 年間稼働率として入所・ショートステイ共には 95%以上を目標とする。</p> <p>3. 適切なサービス提供</p> <p>① ケアプラン会議やモニタリング会議において現行のサービスの達成度などを確認し、適切なサービス提供に努めていく。</p> <p>② 事故防止委員会及び虐待防止委員会において利用者の事故等について詳細に検証を行い、予防策を講じた上で、その効果について定期的なチェックを行っていく。</p> <p>4. 介護報酬の改定</p> <p>① 介護報酬の改定に伴い、介護報酬請求及び運営基準等の見直しを適切に行っていく。</p> <p>5. 施設の管理</p> <p>① 適正に設備及備品の管理を行っていく。</p> <p>② 白老町と連携し適宜、設備整備を行っていく。</p> <p>待機者状況を確認し要介護度の改善のため特定入所は極力避け、入退所の調整を迅速に行い利用者の安定確保を図る。短期入所は極力受け入れが出来るよう事前情報の収集及び現場への情報共有を行い在宅ニーズに添えていく。利用者のリスクマネジメントに努めや適切なサービス提供に努めていく。施設内研修などにより職員のスキルアップに努めていく。新型コロナウイルス等の感染症に対して基本的な感染対策を徹底させるなど感染防止に努めていく。また、寿幸園開設し14年を迎え、施設備品の経年劣化が目立ってきており設備の維持管理等に努めていく。</p>
<p>利 用 者 サ ー ビ ス 等</p>	<p>相談支援</p> <p>①利用者・家族の相談に応じ、施設内外の関係部署等との調整を図る。</p> <p>②入退所調整を迅速に行い、利用者の安定的確保を図る。</p> <p>③施設及び短期入所サービス計画の策定。</p> <p>介 護</p> <p>①利用者情報及び対応方法の共有化を図る。</p> <p>②利用者個々のケアプランにより適切なサービス提供に努めていく。</p> <p>③各ブロック間での共有部分の強化等、効率的な業務内容を検討する。</p> <p>健康管理 (保健衛生)</p> <p>①日常的健康管理・嘱託医等への報告及び指示内容の実施。</p> <p>②白老町立病院及び各医療機関との連絡調整及び連携を図る。</p> <p>③利用者の健康管理に努めながら、体調不良者などの対応を迅速かつ適切に行う。</p> <p>④新型コロナウイルス等の感染症に対する予防及び対応方法の検討・実施。</p> <p>機能訓練</p> <p>①個別訓練計画の作成により可能な限り入居者の機能低下を防ぐ。</p> <p>②生活場面での機能維持に対する支援。</p> <p>③短期入所利用者への機能訓練実施を通じ、在宅での生活機能維持を図る。</p> <p>給 食 (栄養管理)</p> <p>①個々の嗜好や嚥下状態の把握を安全に配慮した食事を提供する。</p> <p>②栄養マネジメントに基づき利用者の健康管理を支援する。</p> <p>③行事食等の提供により生活の潤いを提供する。</p> <p>余暇支援 (行事等)</p> <p>①寿幸園レクリエーション委員会による全体行事の企画・実施。</p> <p>②各ブロック単位でのレクリエーションの企画・実施。</p> <p>③新型コロナウイルス感染状況を踏まえ外部団体等の訪問調整の実施。</p>
<p>人 材 育 成 (職員確保)</p>	<p>①職員の育成及びチューターに対する支援の実施。</p> <p>②準職員に対する介護職員実務者研修受講促進を図る。</p>
<p>研 修 計 画</p>	<p>①寿幸園内研修委員会企画による研修会の開催。(原則、毎月)</p> <p>②天寿会研修委員会企画の研修会への参加。</p> <p>③新型コロナウイルス感染状況を踏まえ外部研修などへの参加を検討。</p>
<p>施設管理等</p>	<p>①寿幸園内敷地の清掃・整備及び建物外観を保全に努める。</p> <p>②設備・備品の経年劣化に対して適正な維持管理に努める。</p> <p>③危険物・衛生設備の管理徹底を図る。</p>
<p>そ の 他</p>	<p>①日常的な節電・節水を通じ冗費削減を図る。</p>

令和3年度 グループホームいたどり事業計画（概要）

運営方針	<p>令和2年度は、今まで経験した事がないコロナウイルス感染症が猛威をふるい、当初計画していた家族や地域との交流の場が制限されてしまい、その人らしい個々の生活実現の提供ができなくなってしまう。ただ、コロナ禍の中でも、例年開催している行事は規模を縮小したり外出場所を近隣へ変更したりし楽しみを提供する事はできた。利用者の加齢や疾患の進行による入院と退去があり運営状況の改善には至らなかった。</p> <p>令和3年度も、コロナ禍の制限された環境下の中での支援となると思われるが、その中でも利用者が自分らしい生活を送れる様に、支援方法を変更しながらでも今まで施行した事は継続できる様に、また、コロナ禍でも楽しめる生活を送れる新たな支援を検討していく。その為には、感染症への対策が必要なので引き続きコロナに対する対策を十分に行っていく。利用者の体調確認と早期受診を行うことで、病状悪化と入院に繋がる事を防ぐ。入居待機者の状況を定期的に確認し退去後の早期入居に努め、稼働率の安定を図る。利用者の高齢・重度化に伴い、新たなサービスへの体制整備を検討。職員の不適切な言動とハラスメントには注意を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 自分らしい生活実現に向けた介護福祉サービスの提供。</li> <li>2. 感染対策と、制限の中での新たな余暇活動提供。</li> <li>3. 新規利用者の確保と入居利用者の健康管理。</li> </ol>												
利用者サービス等	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="225 712 379 907">相談支援</td> <td data-bbox="379 712 1437 907"> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 利用者の人権を尊重し、自分らしい施設生活・地域生活を安心して送れるように、利用者及び家族、地域住民の相談に対応し、必要な情報提供・支援を行う。</li> <li>2. 利用者の状態変化に応じた必要なサービスや事業所変更への連絡調整・相談支援を行う。</li> <li>3. 医療機関や他事業所などとの連携を図り、新入居への支援を強化する。</li> <li>4. 利用者・家族の主体性と選択性が尊重され、自ら決定できるよう相談を行う。</li> </ol> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="225 907 379 1102">介護(生活支援)</td> <td data-bbox="379 907 1437 1102"> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 利用者の生活歴・現状の希望や状態など十分にアセスメントを行い、そこに家族の希望も含めながら利用者本位の支援を提供する。</li> <li>2. ケアプランは多職種で協働し作成し、プランにそったサービスを提供する。</li> <li>3. こまかい記録を行い情報共有を行い、利用者の状態変化を見逃さないようにする。</li> <li>3. 効率的で効果的な業務が遂行できるよう、業務の見直しを検討する。</li> </ol> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="225 1102 379 1296">健康管理(保健衛生)</td> <td data-bbox="379 1102 1437 1296"> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 毎日の健康チェックとあわせて、精神症状や行動障がいなどもあわせて観察し、異常の早期発見に努め必要な医療が受けられるようにする。</li> <li>2. 入院時に医療機関との連携を図り、退院後も安心して生活を送れるようにする。</li> <li>3. 看護師による定期的な健康管理の実施。</li> <li>3. 感染症と対策への理解に努め、感染予防を図る。</li> </ol> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="225 1296 379 1370">機能訓練</td> <td data-bbox="379 1296 1437 1370"> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 日常生活活動を通じた身体機能の維持と、それに伴う自信の回復を含め精神面回復を図る。</li> <li>2. 生活の中に体操をできる時間をとりいれ施行する。</li> </ol> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="225 1370 379 1458">給食(栄養管理)</td> <td data-bbox="379 1370 1437 1458"> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 利用者の嗜好を把握し、満足と楽しみのある食事を提供する。</li> <li>2. 利用者の力を発揮して頂けるように職員と協働で調理を行う。</li> </ol> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="225 1458 379 1608">余暇支援(行事等)</td> <td data-bbox="379 1458 1437 1608"> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 趣味など馴染みの活動の継続や、季節を感じられるような様々な行事提供行う。</li> <li>2. 個々の状態や希望に応じた外出を企画、家族との協働や交流機会、季節のうつろいや暮らしを感じられる行事を、利用者と共に検討・実施していく。</li> <li>3. 感染症の状況に応じた行事内容を検討し提供（規模縮小や近隣への外出など）。</li> </ol> </td> </tr> </table>	相談支援	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 利用者の人権を尊重し、自分らしい施設生活・地域生活を安心して送れるように、利用者及び家族、地域住民の相談に対応し、必要な情報提供・支援を行う。</li> <li>2. 利用者の状態変化に応じた必要なサービスや事業所変更への連絡調整・相談支援を行う。</li> <li>3. 医療機関や他事業所などとの連携を図り、新入居への支援を強化する。</li> <li>4. 利用者・家族の主体性と選択性が尊重され、自ら決定できるよう相談を行う。</li> </ol>	介護(生活支援)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 利用者の生活歴・現状の希望や状態など十分にアセスメントを行い、そこに家族の希望も含めながら利用者本位の支援を提供する。</li> <li>2. ケアプランは多職種で協働し作成し、プランにそったサービスを提供する。</li> <li>3. こまかい記録を行い情報共有を行い、利用者の状態変化を見逃さないようにする。</li> <li>3. 効率的で効果的な業務が遂行できるよう、業務の見直しを検討する。</li> </ol>	健康管理(保健衛生)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 毎日の健康チェックとあわせて、精神症状や行動障がいなどもあわせて観察し、異常の早期発見に努め必要な医療が受けられるようにする。</li> <li>2. 入院時に医療機関との連携を図り、退院後も安心して生活を送れるようにする。</li> <li>3. 看護師による定期的な健康管理の実施。</li> <li>3. 感染症と対策への理解に努め、感染予防を図る。</li> </ol>	機能訓練	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 日常生活活動を通じた身体機能の維持と、それに伴う自信の回復を含め精神面回復を図る。</li> <li>2. 生活の中に体操をできる時間をとりいれ施行する。</li> </ol>	給食(栄養管理)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 利用者の嗜好を把握し、満足と楽しみのある食事を提供する。</li> <li>2. 利用者の力を発揮して頂けるように職員と協働で調理を行う。</li> </ol>	余暇支援(行事等)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 趣味など馴染みの活動の継続や、季節を感じられるような様々な行事提供行う。</li> <li>2. 個々の状態や希望に応じた外出を企画、家族との協働や交流機会、季節のうつろいや暮らしを感じられる行事を、利用者と共に検討・実施していく。</li> <li>3. 感染症の状況に応じた行事内容を検討し提供（規模縮小や近隣への外出など）。</li> </ol>
相談支援	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 利用者の人権を尊重し、自分らしい施設生活・地域生活を安心して送れるように、利用者及び家族、地域住民の相談に対応し、必要な情報提供・支援を行う。</li> <li>2. 利用者の状態変化に応じた必要なサービスや事業所変更への連絡調整・相談支援を行う。</li> <li>3. 医療機関や他事業所などとの連携を図り、新入居への支援を強化する。</li> <li>4. 利用者・家族の主体性と選択性が尊重され、自ら決定できるよう相談を行う。</li> </ol>												
介護(生活支援)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 利用者の生活歴・現状の希望や状態など十分にアセスメントを行い、そこに家族の希望も含めながら利用者本位の支援を提供する。</li> <li>2. ケアプランは多職種で協働し作成し、プランにそったサービスを提供する。</li> <li>3. こまかい記録を行い情報共有を行い、利用者の状態変化を見逃さないようにする。</li> <li>3. 効率的で効果的な業務が遂行できるよう、業務の見直しを検討する。</li> </ol>												
健康管理(保健衛生)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 毎日の健康チェックとあわせて、精神症状や行動障がいなどもあわせて観察し、異常の早期発見に努め必要な医療が受けられるようにする。</li> <li>2. 入院時に医療機関との連携を図り、退院後も安心して生活を送れるようにする。</li> <li>3. 看護師による定期的な健康管理の実施。</li> <li>3. 感染症と対策への理解に努め、感染予防を図る。</li> </ol>												
機能訓練	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 日常生活活動を通じた身体機能の維持と、それに伴う自信の回復を含め精神面回復を図る。</li> <li>2. 生活の中に体操をできる時間をとりいれ施行する。</li> </ol>												
給食(栄養管理)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 利用者の嗜好を把握し、満足と楽しみのある食事を提供する。</li> <li>2. 利用者の力を発揮して頂けるように職員と協働で調理を行う。</li> </ol>												
余暇支援(行事等)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 趣味など馴染みの活動の継続や、季節を感じられるような様々な行事提供行う。</li> <li>2. 個々の状態や希望に応じた外出を企画、家族との協働や交流機会、季節のうつろいや暮らしを感じられる行事を、利用者と共に検討・実施していく。</li> <li>3. 感染症の状況に応じた行事内容を検討し提供（規模縮小や近隣への外出など）。</li> </ol>												
人材育成(職員確保)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 業務での支援・対応策など自身で考え進められる様にする。また、いつでも相談できる環境をつくり孤立感を感じない様にする。</li> <li>2. 自身でストレス要因を理解し、セルフケアにてストレスをコントロールできるようにする。</li> <li>3. 事業所内研修を定期的に行う（各委員会からと、その時の職場状況に応じた研修）。</li> </ol>												
研修計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 身体拘束廃止/虐待防止委員会と健康管理（感染予防）検討委員会の会議を定期的開催。事例など用いて学習機会をもち、季節ごとの感染に対する研修会を行う。</li> <li>2. 法人内研修の参加、制度理解・尊厳と権利擁護・認知症に対する内・外部研修の参加。</li> </ol>												
施設管理等	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 防火設備や機器の保守点検と、火災・地震などの避難訓練や研修の実施、風水害など盛り込んだ防災計画への改定により、安全と安心を確保する。</li> <li>2. 住みやすさ使いやすさなどの環境整備や、建物の保守点検を行う。</li> <li>3. 介護報酬が適切に請求できるように確認と管理を行う。</li> </ol>												
その他	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 運営推進会議を通じて、地域に根差し開かれた運営を行う（感染症時は書面開催とする）。</li> </ol>												

令和3年度 しおさい 事業計画（概要）

運営方針	<p>障害者総合支援法の主旨に沿って、利用者個々の想いを尊重し、個別支援計画書に基づき、地域社会で自立した日常生活や社会活動を営むことができるようにする。</p> <p>事業の実施に当たり、法人内の日中活動事業所、他事業所の地域資源の活用、関係市町村、地域の保健、医療、福祉サービスと連携を密に図り、サービスの提供に努めます。</p> <p>当法人の理念でもある『利用者本位』『自立支援』『地域との連携』を推進する存在であるために、住まいとしての場、自立支援を応援する場、地域生活を発信する場であることを再認識し、サービスの質の向上を図ると共に、日中活動支援型グループホームへの移行、グループホームの拡大、新たな日中活動の創出など、障害分野の事業展開や状況の変化に応じられる体制作り、スタッフの働きやすい、やりがいのある職場作りを目指しながら、事業の安定化を図ります。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 行政機関や法人内施設・他事業者との連携等による利用者の定員確保。</li> <li>2. 利用者一人ひとりのニーズの実現に向けた個別支援、自立支援と日中活動の充実。</li> <li>3. 防災・事故・防犯対策等の安全・安心を考えた施設運営。</li> <li>4. 職員研修、他事業所見学、交流会による意識の変化、スキルアップ。</li> <li>5. 障がいサービス（更生部・通所・療護部）との連携強化、求められる日中活動作り。</li> </ol>
利用者	<p>相談支援</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 利用者の想いに寄り添った個別支援計画の作成及び相談を行う。</li> <li>2. 広報誌・法人ホームページ、ブログ等を通し、地域住民、関係機関へ情報発信を行います。</li> <li>3. 日中活動事業所や地域の社会資源を活用した個別支援、自立支援を推進する。</li> <li>4. より多くの相談支援事業所、障害福祉サービス支援事業所と顔の見える関係を構築し、連携強化を図る。</li> <li>5. 事故防止及び権利擁護を推進する。</li> </ol>
サ	<p>生活支援</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 個別支援計画に基づく支援の実施（利用者の地域生活支援を含む）。</li> <li>2. 職員間での利用者情報の共有化による支援内容の向上を図る。</li> <li>3. 利用者の健康状態の把握による疾病の早期発見と医療機関との連携。</li> <li>4. 利用者の嗜好や意向に添った、また健康面に配慮した食事の提供。</li> <li>5. 町内会等の地域との交流を積極的に図る。</li> </ol>
ス	<p>健康管理 (保健衛生)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 利用者の日常的健康チェックや早期対応による健康管理の把握を行う。</li> <li>2. 新型コロナウイルス、インフルエンザ等の感染予防の実施、勉強会、マニュアルの更新及び迅速な対応に努める。</li> </ol>
等	<p>庶務</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 介護報酬及び各種加算の手続きと適切な請求。</li> <li>2. 経費節減及び利用者を確認し安定した経営を図る。</li> </ol>
	<p>給食 (栄養管理)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 家庭の味を田尾説にし、必要時には管理栄養士の助言を受け、食事提供を行う。</li> <li>2. 食中毒等の予防に努めていく。</li> </ol>
	<p>余暇支援 (行事等)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 利用者が望む余暇活動を充実させていく。交通機関の利用の見直しを図ります。</li> <li>2. 近隣地域の行事の情報提供及び積極的な参加を促す。</li> <li>3. 夏祭り・忘年会、各イベント・余暇活動が利用者主体となるよう支援する。</li> </ol>
人材育成 (職員確保)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 法人研修、外部研修などの参加しスキルアップに繋げていく。</li> <li>2. 意見の言い合える風通しの良い職場環境づくりを行う。</li> <li>3. 個人面談、一緒に考える業務改善を通して、離職防止に努める。</li> </ol>
研修計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. スキルアップが図れるよう法人研修及び障がい合同研修への参画並びに事業所内研修の充実を図る。</li> <li>2. 社会福祉研修所研修等の外部研修への参加や他施設見学を行い、情報収集や業務改善、職員の知識・技術の向上に努める。</li> </ol>
施設管理等	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 利用者の安全・安心を基本とした、事故防止対策並びに防災・防犯対策の強化を図る。</li> <li>2. 虐待防止に取り組み利用者の権利擁護並びに職場環境の改善を推進する。</li> </ol>
その他	

令和3年度 そよ風の里事業計画（概要）

事業計画	基本方針	
	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 新たな利用者の確保及び定員の確保</li> <li>2. 健全な財政運営</li> <li>3. 介護保険施設としての法令遵守</li> <li>4. ユニットケアの推進</li> <li>5. 職員の確保及び資質向上</li> </ol>	
画面	前期基本計画（令和2年度～令和4年度）	
	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 介護医療院に関する施策・人員基準・介護報酬内容の確認</li> <li>2. 介護職員・看護職員の確保に向けてあらゆる機会を活用</li> <li>3. 医療処置を必要とする利用者の積極的な受け入れ及び定員の維持を図る</li> <li>4. 設備の劣化及び施設の汚れへの対応（3F・4F居室外窓の掃除方法の検討）</li> </ol>	
利用	令和3年度重点目標	
	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 新型コロナウイルス感染対策 発生時緊急対応マニュアルの整備、及び利用者の余暇活動の充実</li> <li>2. 法令の遵守 介護保険法による運営基準の遵守、及びハラスメント（パワハラ・セクハラ）の禁止</li> </ol>	
利用者サービス等	相談	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 利用者の人権を尊重し、安心した施設生活を送れるように利用者及び家族の様々な相談に応じる。</li> <li>2. 利用申込みに関する相談や介護保険について町内外の住民からの問い合わせに応じる。</li> <li>3. 家庭復帰や特養利用への相談支援を行う。</li> <li>4. 近隣医療機関、居宅介護支援事業所に対して施設情報を提供する。</li> <li>5. 入所判定委員会を主宰する。</li> </ol>
	医療健康管理	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 利用者の日常的な健康管理とともに疾病の早期発見・早期治療を行う。</li> <li>2. 協力医療機関と連携し緊急時支援体制の確保を図る。</li> <li>3. ジェネリック医薬品の活用等、経費削減を目指す。</li> <li>4. 感染症の予防に努め各職種に対する支援を行う。</li> </ol>
	介護看護（生活支援）	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ユニットケアの推進とケアプランに基づくサービスの充実を図る。</li> <li>2. 関係職種と利用者情報の共有化を図るとともに身体拘束廃止に取り組む</li> <li>3. 重度要介護者及び認知症とその周辺症状に対応できる体制の整備を図る。</li> <li>4. 医療介護事故の防止に取り組み、重大事故につながらないよう努める。</li> <li>5. ターミナルケア（看取り介護）の整備を進める。</li> </ol>
	機能訓練	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 身体機能・認知機能の低下を防ぐため、個別の訓練計画を作成・実施する。</li> <li>2. リハビリテーション及び余暇活動へのアプローチを行う。</li> <li>3. 地域の介護予防事業に協力する。</li> </ol>
	給食（栄養管理）	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 利用者個々の嗜好を把握し、満足を得てもらえる食事の提供を心掛ける。</li> <li>2. 利用者の栄養状態にあったマネジメントを行う。</li> <li>3. 咀嚼や嚥下状態が低下した利用者でも経口摂取ができるよう工夫を行う。</li> <li>4. 食事レクの企画実施。</li> </ol>
	余暇支援（行事等）	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 新型コロナウイルス感染拡大による屋外行事機会減少を補う、ユニットごと・フロアごとに利用者のニーズに合わせた行事やレクの企画実施。</li> <li>2. 天寿会共通行事・クラブ活動参加の支援を行う。</li> </ol>
	研修計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 介護福祉士資格取得に向けて実務者研修通信課程の寿行支援を行う。</li> <li>2. 法人内研修員会実施の研修へ参加する。</li> <li>3. 毎月の感染防止委員会・事故防止委員会・身体拘束防止委員会にて、感染症及び不適切ケアや虐待防止について学習する。</li> </ol>
施設管理等	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 経費の節減を心掛け経営の安定化を図る。</li> <li>2. 備品台帳を整備。建物・備品の経年劣化に伴う破損等に対応する。</li> </ol>	

令和3年度 診療所事業計画（概要）

事業計画	<p>北海道リハビリテーションセンター診療所は、次の内容を基本方針として運営を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 医療法、医師法等を遵守し、違反のないよう医療を提供する。</li> <li>2. 地域住民に必要な医療を提供し、地域内で健康な生活を送ることが出来るよう支援する。</li> <li>3. 施設利用者への健康管理を通じて、自立した生活を送ることが出来るよう支援する。</li> <li>4. 職員に必要な医療を提供し、安心して天寿会での勤務を続けていくことが出来るよう支援する。</li> </ol> <p>令和3年度重点目標</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 新型コロナウイルス感染対策             <ol style="list-style-type: none"> <li>① 館内の感染を防ぐ                 <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 近隣の発熱外来医療機関を紹介する等、適切な受診が出来るよう支援を行う。</li> <li>2. 消毒液を適切な箇所に配置する。</li> <li>3. 手すり・ドアノブ清拭等の環境消毒を継続する。</li> </ol> </li> <li>② 職員への感染を防ぐ                 <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 個人防護具の整備を図る。</li> </ol> </li> <li>③ 施設利用者への対応                 <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 原因不明の発熱者を対象に抗原検査を実施し、適切な受診等の指示を行う。</li> </ol> </li> </ol> </li> </ol>	
医療サービス等	地域住民	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「特定検診」・「後期高齢者健康診査」・「特定健康情報提供」等の資料の提供。</li> <li>2. 在宅療養指導の実施。</li> <li>3. 協力医療機関と連携し緊急時支援体制の確保。</li> <li>4. 予防ワクチン接種の提供。～インフルエンザ・肺炎球菌</li> <li>5. 白老町学校検診への協力～竹浦小学校・虎杖小学校</li> <li>6. その他、白老町・苫小牧保健所等の行政機関からの依頼に応える。</li> </ol>
	施設利用者	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 必要時の診療の提供。</li> <li>2. 健康診断の提供</li> <li>3. 予防ワクチン接種の提供。</li> <li>4. 協力医療機関と連携し緊急時支援体制の確保。</li> </ol>
	職員	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 必要時の診療の提供。</li> <li>2. 健康診断の提供</li> <li>3. 予防ワクチン接種の提供。</li> <li>4. 二次検診等を通じた健康管理の支援</li> </ol>
	医療器具	<p>必要最小限の機器で対応し、設置機器以外については委託業者に依頼</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 心電図装置</li> <li>2. 超音波画像診断装置</li> <li>3. 尿検査器</li> <li>4. 生化学分析装置</li> <li>5. レントゲン撮影装置（回診用X線装置を含む）</li> <li>6. 針治療器</li> </ol>
	人材育成（職員確保）	<p>欠員が生じた際には、あらゆる機会を活用し職員を確保する。</p>
	研修計画	<p>天寿会研修員会主催の研修への参加を行う。</p>
	施設管理等	<p>建物・設備において老朽化しており、故障や不具合が発生した都度対応を取っていく。</p>

令和3年度 天寿会実務者研修通信科事業計画（概要）

運営方針	<ol style="list-style-type: none"> <li>1, 新型コロナウイルス感染予防対策を講じた講座運営</li> <li>2, 教育体制の整備・充実を図る</li> <li>3, カリキュラム改正への対応、その他適正事務</li> <li>4, 新型コロナウイルスの状況をみつつ、近隣地域へ受講生募集を拡大する。</li> <li>5, コロナ禍の先を見据えた事業運営の検討</li> </ol> <p>令和2年度は過去最高の受講者数となり、感染対策を講じた講座運営に努めた。新型コロナウイルスの影響を受け、法人運営事業の特性上広く受講者を募集することができず法人職員が主となった。オンライン学習システム、QCPR シミュレーターを導入したことで受講生の利便性や受講環境を向上することができたが、今後はソフト面での向上を目指し、より実践力が身につく教育体制を整備して、地域の介護人材の育成を担っていけるようにする。</p>	
利用者サービス等	サービスの向上	<ol style="list-style-type: none"> <li>1, 健康チェック、飛沫対策、消毒等感染対策を講じて講座運営する。</li> <li>2, 新型コロナウイルスの拡大状況にあわせて、オンライン講義等の導入を検討（医療的ケアは不可）する。</li> <li>3, 新カリキュラムに対応すると共に、教育内容の充実を図る。</li> <li>4, 一般・法人職員それぞれのキャリア支援、就労支援等、研修終了後のキャリアについてサポートの充実を図る。</li> </ol>
申請手続き等事務	<ol style="list-style-type: none"> <li>1, 第5条報告を適切に実施する。</li> <li>2, 介護福祉士実務者養成カリキュラムの変更に対応する。</li> <li>3, 専門実践教育訓練給付金制度事務を適正に行う。</li> </ol>	
人材育成研修計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1, 医療的ケア教員講習会への派遣（退職に伴う補充）。</li> <li>2, 実務者研修教員講習会への派遣（増員）。</li> <li>3, 教員の介護技術、受講生支援に関する研修の受講を検討。</li> </ol>	
施設管理等	<ol style="list-style-type: none"> <li>1, 通信科備品管理、消耗備品の在庫管理・補充、研修室の整理等適切な施設・備品管理に努める。</li> </ol>	